



TOSHIRO
TOMOCHIKA

参議院議員

第2号 (発行:平成20年4月) 発行責任者:友近聡朗後援会発行

友近としろう

生活第一! 地域で暮らし働く人々の目線に立った政治を!

活動報告レポート VOL.2



ご挨拶

こんにちは、友近としろうです。日々の友近としろうの活動に対し、並々ならぬご支援、ご協力を賜りまして、心から厚く御礼申し上げます。

さて、ニュース等でも連日報道されていますように、国会では、与野党全面対決といった様相を呈しております。与党による予算案の強行採決、日銀総裁人事の決裂、年金記録問題は3月末までの解決という公約は守られず、5,000万件の内持ち主が判明したのはわずか417万件というありさまです。そしてついに4月1日、暫定税率は期限切れとなり、ガソリンは安くなりましたが、政府・与党は、今月末にも暫定税率を復活させる税制改正関連法案を衆議院で再議決する構えを見せています。ガソリン価格は再び値上げされ、国民生活にいたずらな混乱を招くことになります。

さらに、2006年に与党が強行採決した「医療制度改革関連法」により、今月から「後期高齢者医療制度」の施行が始まりました。75歳以上の高齢者の方からは、一律に保険料を年金から天引きするというものですが、これまで子どもの扶養に入っていて負担のなかった高齢者からも強制的に負担させる、住んでいる地域によって負担額が大幅に異なる、保険料増額の方がたくさんいらっしゃるほか、障害を抱えた高齢者の負担も増大する等々、多くの問題が明らかとなっています。まさに「高齢者に優しくない」政策であり、現在の政府・与党のあり方を象徴しています。

サッカー選手であった私が、国会議員になってまだ9カ月ですが、国会議員としてこれからの自分について大きく考えさせられた9カ月でもありました。

「生まれ育ったふるさと愛媛を元気にしていきたい。」その想いは私の中で変わることはありません。子ども達が自分の生まれた場所で、大好きな愛媛で幸せに暮らしていける未来を創るため「今、政治は何をすべきか。」皆さまと共に考え続けて参ります。

2008年4月吉日
参議院議員 友近聡朗

●友近としろうサッカー教室募集中!! (無料)

スポーツを通じて世代を超えたつながり、地域密着を実現します。フェアプレー精神や、分かち合う気持ち、健全な心を地域に育てていきます。一緒に汗を流しましょう!

対象:愛媛県内の小学生チーム

お問い合わせ、お申込先:下記連絡先「友近としろう事務所」

※メールでのお問い合わせの場合、連絡先、お名前を明記して下さい。

※公務の都合上、土曜日もしくは日曜日の実施が主となります(平日の場合、要相談)

●お子様がサッカーをしている御父兄の皆様

●地域や小学校でのスポーツクラブの関係者

等々、どなたでもお気軽に御相談下さい

『お申込、お待ちしております!』



●友近としろう後援会募集中!

友近としろう後援会では、この度、会員になって頂ける方を大募集しています!!

会員種類	サポーター会員	スーパーサポーター会員
会費	年間(一口) 2,000円	年間(一口) 10,000円
入会特典	●年2回の広報誌 ●クリアファイル	●年4回の広報誌 ●クリアファイル ●エコバッグ
お申込方法	[共通特典] 楽しい各種イベント情報をお知らせします。(国政報告会、懇親会、スポーツ大会等) 下記事務所連絡先までお問い合わせ下さい。インターネットでのお申込も受け付けております。 (詳しくは下記ホームページ内「友近としろう後援会」をご覧ください)	



18歳以上の方ならどなたでも会員になれます! 皆様の御入会をお待ちしております!

※会員有効期限は、入会日より翌年同月までの一年間となります。

※企業、団体からの献金は禁止されておりますので、個人のご入会のみとなります。

●ホームページのご案内

友近としろうの日々の活動日記、思った事、感じた事をホームページにていち早く皆様にお知らせしています。インターネットで配信されている議会中継のご案内や、事務所からのイベント情報を発信しています。お気軽にアクセスして下さい!



<http://tomochika.jp>

e-mail: toshiro@tomochika.jp

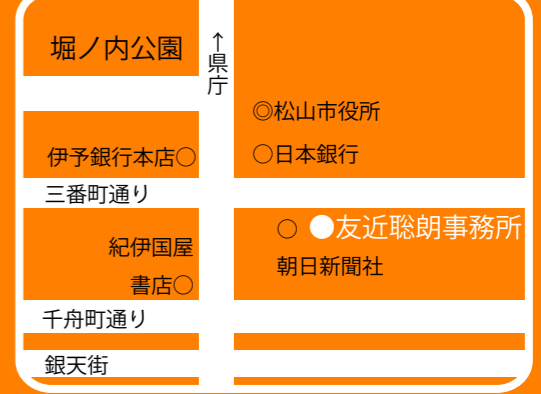


●友近聡朗事務所連絡先

【愛媛事務所】〒790-0003
愛媛県松山市三番町四丁目9-8
松本ビル3階
TEL: 089-943-5050
FAX: 089-943-5551

【東京事務所】〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館706号
TEL: 03-3508-8706
FAX: 03-5512-2706

<事務所周辺地図>



<受付時間> 平日 9:00~18:00 (土日祝日を除きます)

野党共同で『後期高齢者医療制度廃止法案』を衆議院に提出！

民主、社民、国民新、共産の野党4党により、2月28日「後期高齢者医療制度廃止法案」が衆議院に提出されました。

同法案は

- (1) 70歳から74歳の医療費自己負担引き上げを廃止する
 - (2) 75歳以上の被扶養者約200万人に対する新たな保険料徴収は廃止する
 - (3) 保険料の年金からの天引きは止める。あわせて前期高齢者の国保料を年金から天引きするのもやめる
- 以上3点を中心に同制度の廃止を求めるものであります。

●旧制度との比較

	旧制度	後期高齢者医療制度
被保険者	<ul style="list-style-type: none"> ●75歳以上の者 ●65～74歳の一定以上の障害を有する者（認定を受けた者） 	<ul style="list-style-type: none"> ●旧制度と同じ (認定は後期高齢者医療広域連合にて行う)
保険料	<ul style="list-style-type: none"> ●各医療保険制度の保険料を負担する ●被扶養者には保険料はかからない 	<ul style="list-style-type: none"> ●患者負担を除く、総医療費の1割を保険料として負担する ※低所得者軽減あり
高齢者の患者負担	<ul style="list-style-type: none"> ●70歳以上は原則1割 ※現役並みの所得を有する者には3割 	<ul style="list-style-type: none"> ●70～74歳は原則2割、75歳以上は原則1割 ※現役並みの所得を有する者には3割
保険証	<ul style="list-style-type: none"> ●老人医療受給者証 ●国民健康保険、健康保険組合などの保険証 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい保険証を交付（郵送にて） ※これまでの老人医療受給者証と保険証は使えなくなります
法的根拠	老人保健法、健康保険法	高齢者の医療の確保に関する法律

道路特定財源、暫定税率、一般財源化について

政府・与党は『租税特別措置法案』（ガソリン税等の暫定税率延長を復活させる法案）及び総理の「道路特定財源の一般財源化方針」とは全く矛盾する『道路特例法改正案』（道路特定財源の10年間維持することを目的とした法案）を再可決する構えを見せています。所得税、住民税の定率減税の廃止や年金保険料の引き上げなど国民の負担は増える一方です。市場では原油価格の高騰に伴い穀物の価格も上昇。その為パン、カップめん、豆腐など身近な食品が値上がりし、4月からは電気、ガスも大幅値上げされ一般家庭の家計を直撃しています。

暫定税率廃止による減税効果：一世帯あたり年間5.6万円（愛媛県）

ガソリンをはじめ暫定税率の廃止は、2兆6000億円の減税効果となります。税金は減収となりますが燃料費の引き下げで運送業界をはじめとした物流部門や農林水産業などを中心に大きな経済効果をもたらします。皆さまが生活負担増に苦しむ現状ではほとんどの国民が恩恵をうけることができる即効性のある施策であり、地域経済の活性化をもたらす効果的な経済対策にもなります。また一般財源化により「道路にしか使えない財源」が道路以外の医療、福祉、教育等「地域で本当に必要とされるもの」への使用が可能となります。医師の確保、子育て支援施策など、地域によって最優先で取り組むべき課題は異なります。道路が『最優先』の課題であった時代は終わったというのが、多くの国民の常識ではないでしょうか。

道路特定財源をめぐる与野党案比較

	民主党の方針	政府・与党の従来方針	福田総理の新提案	福田総理新提案への民主の対応
一般財源化の対象	08年度から全額	毎年度、道路歳出を上回る分	09年から全額	閣議決定や法案修正など政府・与党としての正式方針になるなら政策協議も
暫定税率	4月から撤廃	現行水準維持	今秋の税制改革論議で検討	
道路整備中期計画	抜本見直し	今後10年で59兆円を投じる	期間5年の新提案策定	

仲間の皆さんを紹介します！

えひめ
2区

おかひらともこ
岡平知子

安心して暮らせる社会を目指します。
皆さんが、そして地域が輝くまちづくりを



30年余りに「今治」に移り住んだ私は、「元気なまちにしたい」との思いで目の前にある活動に飛び込み、ひたすらに走ってきました。

そして今、子育ても終え、人生の区切りをと身の回りを振り返ってみたとき、今日の政治に突き当たりました。何と暮らし難い社会、生活し難い社会、格差と貧困が渦巻き前を目指すどころか、大きな壁が立ちはだかっているではありませんか。

貧しくとも・・・、子育てや希望に胸をふくらませる社会、お年寄りが安心して暮らせる社会、若者、女性や地域が輝くまちづくりの為に、皆様の声を私に聞かせて下さい！

一部の限られた人ではなく、普通感覚を持った政治と政治家を目指し、私は私、これからも自分に出来ることを仲間と共に歩みます！

社民党第2区支部連合 女性委員長

[今治市・伊予市・東温市・松山市一部(旧北条市・中島町域)・越智郡・上浮穴郡・伊予郡・喜多郡内子町一部(旧小田町域)]

えひめ
3区

しらいしようにち
白石洋一

地域の生活を第一に！



「安心して子供を産み、育てる事ができる」「働く人々が安心して仕事ができる」「おじいちゃんおばあちゃんが安心して暮らせる」そんな社会をつくりたい。9/11テロ事件の時、ニューヨークで現場に居合わせた私は、舞い上がる煙の中、妻と子供を必死で探しました。私の頭の中は怒りと疑問で一杯でした。「何故？誰が？何の為にこんな惨い事を！？」人は、考え方の根本が間違っているととんでもない方向に動いてしまう・・・その事を痛感しました。自分に何が出来るのかを問い続け、そして私は「政治は変わらなければならない」という一つの決断に至りました。『子供の、日本の未来の礎を築いていきたい！』その想いこそが、私が政治を目指す原動力です。地盤、看板、カバン、私には何もありません。しかし「想い」があります。国政の舞台で、「白石ようにち」は必ずその想いを実現します！

民主党第3区総支部長

[西条市・新居浜市・四国中央市]

白石洋一後援会事務所：〒793-0028 愛媛県西条市新田 197-4 TEL：0897-47-1000 FAX：0897-47-1001 e-mail：yshiraishi@silk.ocn.ne.jp

えひめ
4区

たかはしひでゆき
高橋英行

いつまでも暮らしたい南予に。
いつまでも暮らしていける南予に。



愛媛は全国屈指の自民党王国と言われてます。特に南予は「政治＝自民党」の地域です。私の家も、祖父の時から代々自民党、保守系でした。

しかし南予の生活に直結する地域格差や無責任な年金問題、それらを見るにつけ、「今の自民党政治にこのまま政権を任せていては、南予の暮らしは良くなる。このふるさとに将来くらしではいけない」と確信致しました。

私は南予で育ち、南予で就職し、このふるさとに誇りと愛情を強く感じています。同時に東京での生活経験から、都市との格差を痛烈に感じています。私にできること、それは私の一サラリーマン、一生活者の経験を生かし、生活者目線で南予の声を政治に届けることだと気付きました。この想いを実現する為に、36歳の若い力で全力で取り組みます！

民主党第4区総支部長

[宇和島市・八幡浜市・大洲市・西予市・喜多郡・西宇和郡・北宇和郡・南宇和郡]

高橋英行後援会事務所：〒796-0088 愛媛県八幡浜市 1557-1 TEL：0894-22-0390 FAX：0894-22-2636

地元活動フォトアルバム



●『選挙に行こう!』運動
大街道にて新成人の皆さんに
ご挨拶!



●国政報告会 in 四国中央市
応援に来てくれた植松議員(香川)
中谷議員(徳島)、有難うございました!



●梅津寺にて空手寒稽古。気合が入ります!



日本郵政グループ労働組合
駅伝大会出場!
皆さんと一緒に気持ち良い汗をかきました!



八幡浜市: JR 八幡浜駅前

日々の辻立ち。
国会情勢、ホットニュース
を皆様にお届けします。



西条市: 白石洋一事務所前

南予特定郵便局長会



地協定期総会



社民党県連定期総会



民主党県連定期大会

私を支えて下さっている地元の皆様、本当にありがとうございます。皆様日々、思っていること、感じていることを友近に聞かせて下さい! 皆様からの声に応えられるよう、これからも全力で頑張ってお参ります!

国会活動

第 169 回国会

3/18 予算委員会: 一般質問

質問項目

- 1 『財団法人駐車場整備推進機構』(JPO) について
- 2 JPO 運営の駐車場所長への天下りについて
- 3 JPO の無駄使いについて

答弁者: 冬柴国土交通大臣 (他、政府参考人)

質問内容概略 (一部抜粋)

- 国土交通省が道路特定財源 995 億円を使用して作った、全国 14 箇所の駐車場管理を行っている財団だが、現状駐車場の利用は低迷している。先日地元の駐車場を見てきたが、全然利用されていない様子だった。この財団に投入された道路特定財源の金額は?
- 建設費として 995 億円、さらに平成 14 年から 5 年間で約 27 億円の道路特定財源が投入されている。また財団の活動の一つである『日本ベストパーキング賞』だが、この賞の趣旨、目的、予算額は? また過去 3 回行われており、100 円パーキングも表彰の対象になっているが、やる意味があるのか? また今年第 4 回を実施予定だが、実施するのか?
- 27 億のお金が使われている国管轄の駐車場の 14 箇所のうち、11 箇所の所長が国土交通省からの天下りである。道路特別会計で作った国の駐車場はガラガラなのに、それを棚に上げ人様の駐車場を表彰する事はおかしな話で、単なる無駄遣いと思えない。
- JPO で海外視察を毎年行っており、職員一人約 63 万円、団長には約 140 万円が支給されている。平成 18 年度収支は赤字なのに費用丸抱えの海外視察を毎年行い、常勤役員年収 UP を決定している。民間では考えられない事だが、どうなっているのか?
- 土地建物の所有は国だからタダ。リース料もタダ、運営のみ機構なら赤字になって当たり前である。機構の解散に伴い、資産も民間に売却したらどうか?
- 31 億円の債務がタダで貸しているのに残っているという事だ。道路特定財源に関してはムダ使いのデパートと揶揄されている。また医療や教育など優先すべき事があると首相も認めている。歳出根拠に乏しい 59 兆円の道路特定財源を、本当に維持すべきと考えているのか?

大臣の回答概略 (一部抜粋)

- 冬柴大臣: 995 億円という金額は道路の下に空間を作るのにかかった費用を含む為、駐車場建設にかかったお金とはいえない。(質問に対して回答なし)
- 冬柴大臣: 駐車に対する国民の関心を高める事が目的で今までに 1500 万円が使われている。日本ベストパーキング賞については財団の判断で独自に今まで行っていたが、私としても庶民的な視点から見て、止めるべきだと考えている。今後は民間に競争入札等を検討している。
- 冬柴大臣: 財団の自主性に任せているが私としては如何なものかと思う。報酬アップの件に関してはもってのほかの話だ。ただ駐車場収支は平成 14 年を除き黒字である。
- 冬柴大臣: 公共用地の中の空間なので売却できない。また現在 31 億円の債務が残っている。
- 冬柴大臣: 踏切整備も必要、また道路を整備することは地域に働く場所を与える。生活に困窮する状況は判るが、真に必要な道路は作らなければならない。維持していきたい。

3/24 予算委員会: 一般質問

質問項目

- 1 温暖化対策について
道路整備と CO2 排出量との関係について
割着の国内産と輸入産の現状について
割着とマイ着の環境負荷について
- 2 スポーツ施設 (スタジアム) の建築基準について

答弁者: 鴨下環境大臣 舛添厚生労働大臣 渡海文部科学大臣 (他、政府参考人)

質問内容概略 (一部抜粋)

- 『道路整備の継続は、新たな自動車ユーザーを生みだし、自動車の利用を促進する為、CO2 の排出量増加に繋がる』、という分析結果が出ているが、これは与党の『道路整備による渋滞の解消により自動車の実効燃費が向上し、ひいては CO2 排出量削減に繋がる』という主張と矛盾しているのでは?
- 近年自動車利用の増加により、中心市街地の衰退が見られる。(シャッター通り等) これはコンパクトなまちづくりとは矛盾するのでは? 道路整備を推し進めることが結果、中心市街地の衰退、不必要な出費、環境負荷の上昇 (CO2 の増加) の原因となっている。
- 中国では割着に漂白剤、防カビ剤を使用していると聞いた。安全面に問題はないのか? 現在市場の割着の内 98% が輸入品、2% が国内産である。また間伐材や材木の残木で作っている国内産とは違い、主となる輸入先の中国では割着の原料確保の為に伐採を行っている。リユースばし (マイはし) 国産割着、輸入割着、それぞれについての環境負荷の比較、評価 (ライフサイクルアセスメント) について調査すべきでは?
- リユースばしはコスト面でもメリットが大きく、環境保護という視点で見てもレジ袋に続いて国民の関心が高まっている。鴨下大臣には、小池大臣の「ふるしき」に続いて、「マイはし」を広めてみてはどうか? 接待の席でも話題づくりにもなるのでは非、大臣の皆様にも利用してほしい。

大臣の回答概略 (一部抜粋)

- 鴨下大臣: 道路整備だけではなく都市計画等においても同様に人口集中による CO2 増加がみられる。全てにおいて正と負の両面がある。低炭素社会の実現を目標として、『コンパクトな街づくり』(徒歩や公共交通機関を中心とした街づくり) を目指す。
- 鴨下大臣: 一部市街地においては、自動車利用を前提とした郊外の大型ショッピングモールなどが原因となり、中心市街地の衰退を招いているケースがあることは認識している。
- 舛添大臣: 昨年 11 月より安全基準を見直し、防カビ剤については使用禁止とした。漂白剤に関しては以前の 1/3 に限度値を引き下げ、より厳格に検査をしている。今後もサンプル調査においても厳しい指導を行っていく。
- 鴨下大臣: マイはしは原料の使用量でいえば輸入割着にくらべ環境負荷が少ない。ただし洗浄等にもない様々な負荷もあり、詳細なデータがないので環境省としては調査を今後前向きに検討していく。
- 鴨下大臣: マイはしを広げることは、子供達の環境教育面でも「ものを大事にする」という意識を育てていくことであり、環境省だけの問題ではないが、今後私も先頭にたつて「マイはし」普及を推進していく。
- 渡海大臣: 「食育」の面でも、教育の現場では非推進していきたい。

